

地区だより

たいせつな絆を絶やさずに

令和3年度桜台地区子供会  
レクレーションの取り組み

桜台地区小学校PTA会長 畠山 克巳

現在、コロナ禍であり、子供たちが様々な体験をする機会が減っている。子供は家と学校の往復だけが続いており、人とのつながりの場が少なくなってきた。

そんな中、自治会長さんから子供たちや保護者たちが地域とのつながりを切らないようにしたい、子供会の班長さんからは保護者との連携がうまく取れないという話を伺いました。そこで子供たちが地域社会ですこやかに成長していく機会を少しでも作っていきたくと考えるようになりました。

地区PTA役員会の話合いで知恵を出し合い、子供たちのためにできることを検討しました。

①密にならないように

②親子でコミュニケーションを深められるように

③子供たちが楽しめるように

④班長と保護者がつながっていただけるように

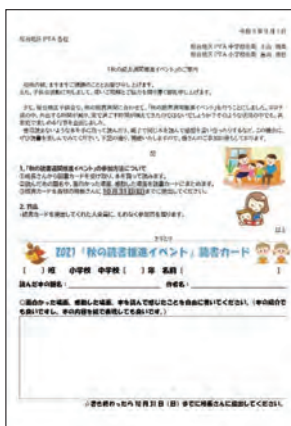
⑤自治会ともつながっていただけるように

「秋の読書推進週間イベント」をすることにしました。

まずは、親子で本を購入しに行き、我が子とのコミュニケーション

ンを深められるように図書券を配布しました。また、子供たちが購入した本の感想を親子で話し合ってもらえるように、感想を記入する欄を入れたチラシも作成し、一緒に配布しました。感想を記入して班長さんに提出してくれた子どもたちには参加賞をあげる予定です。子供会の行事に参加することは楽しいと実感し、コロナが落ち着いた後、積極的に子供会行事に参加してもらえることを願っています。

単なる図書券配布と捉える方もいるかもしれませんが、手から手へ配布することで、人とのつながりを継続し、後々にその絆を繋いでいくことができれば嬉しいのです。今後さらに自治会の方々と交流していただけるように、工夫しながら子供たちの健全な成長に尽力していこうと思います。



イベントのご案内

鳥谷ヶ崎公園

中世(近世)の城館跡・花巻城跡  
そして地域住民憩いの場所

小舟渡 藤沢 茂

現在、鳥谷ヶ崎公園上部の花巻城本丸跡で11月上旬までの予定で発掘調査が行われています。今回発掘調査を担当されている花巻市総合文化財センターに問い合わせをし、HPに掲載されている情報を元に調査結果などを紹介します。

城跡での発掘調査は平成初めより始められ、特にも平成4～6年の本丸西御門周辺の整備に伴う内容確認調査、また平成6年の三之丸市役所新館建設に伴う記録保存調査では中世(近世)に及ぶ多くの遺構・遺物が確認されています。

平成28・29年度には二之丸南御藏跡の内容確認調査が、平成30・令和元年度には本丸内容確認調査が行われました。

花巻城は、中世には鳥谷ヶ崎城と呼ばれ、当時花巻地方を支配していた稗貫氏の居城でした。近世南部氏の支配下になり花巻城へと移行になりました。

平成30・令和元年度の本丸内容確認調査で、本丸御殿の土台跡とみられる穴の内部に石が多量に入っている場所や、集中した石が平面的な広がりを持った御殿建物内部中庭などが確認されました。また、現在芝生部分の整地層の下から黒色の地層が確認され、16世

紀代の灰釉皿(かいゆうざら)などが出土しています。これらの結果から、中世城館である稗貫氏の鳥谷ヶ崎城から近世城郭としての花巻城への移行に伴い、大規模な土木工事が行われた様です。ただ、これまでの発掘調査から建物などの部分が発見されているのか、まだ確定できていないため令和4年度までの予定で現在追跡発掘調査が行われています。

またこの度、公園下広場の芝生整備が完了し9月25日から解放されています。令和元年までは、5月に小舟渡地区大運動会、8月に小舟渡夏祭りが開催されていました。夏祭りには、PTA・自治会員による、焼きそば・焼肉・ほたて焼き・かき氷・飲み物・緑日コーナーが設けられ、例年400名程が参加する盛況ぶりでした。コロナ禍が終息し、あの賑わいが戻ればと思う今日この頃です。



芝生整備された公園下広場



平成30年度 発掘調査の様子(東から)